



入浴時には家族に知らせ、家族はこまめに声をかけましょう。

事故防止の心得

- 体調不良時の入浴は控えましょう。
- 脱衣場、浴室内の適切な温度調節を行いましょう。
- 熱い湯、長風呂は危険が増しますので注意をしましょう。
- 心筋梗塞、高血圧症、脳血管疾患などの持病のある方は、注意して入浴しましょう。

【出典】東京都福祉保健局ホームページ

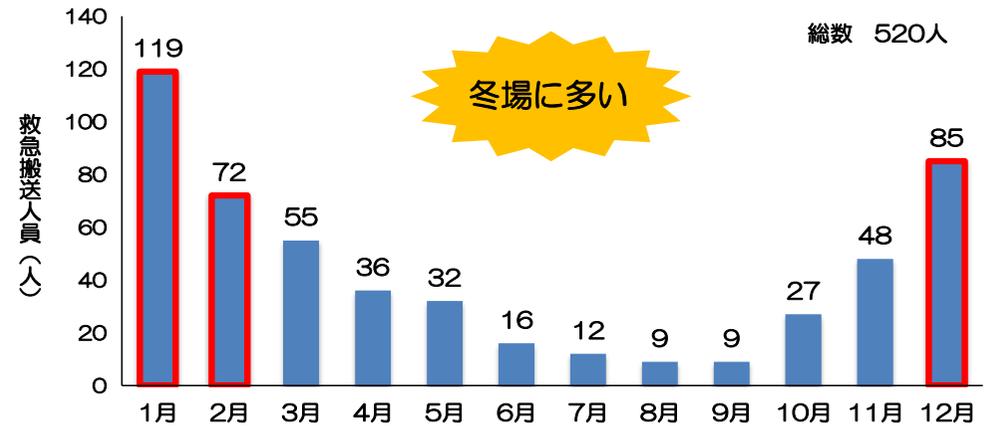
STOP! 高齢者の「おぼれる」事故

東京消防庁

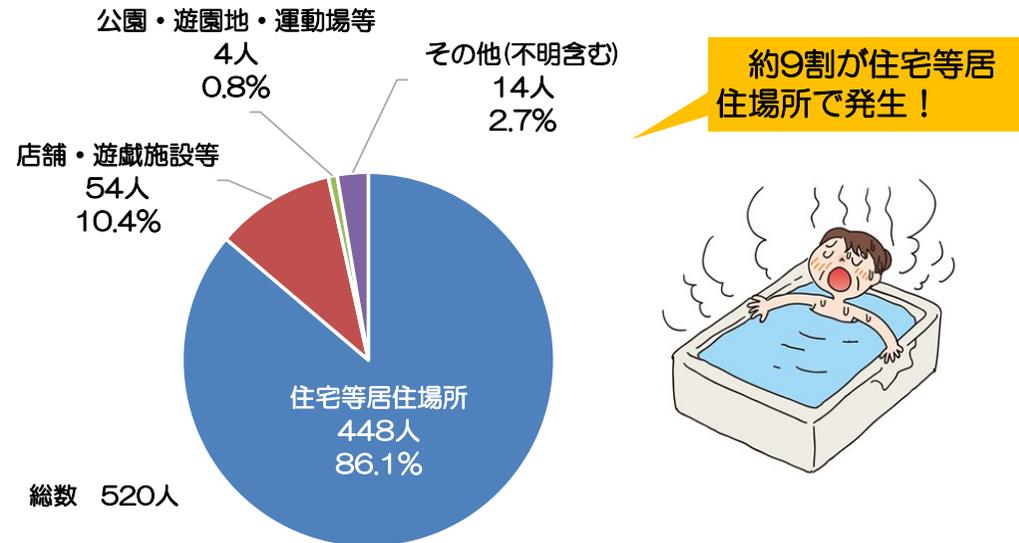
❗ 冬場に浴槽でおぼれる事故が多く発生しています。

令和元年中は、おぼれる事故で**520人**の高齢者が救急搬送されており、そのほとんどは浴槽で発生しています。

月別救急搬送人員



発生場所別救急搬送人員



安全・安心情報など様々な情報を掲載しています

東京消防庁ホームページ
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防庁 Twitter
 @Tokyo_Fire_D

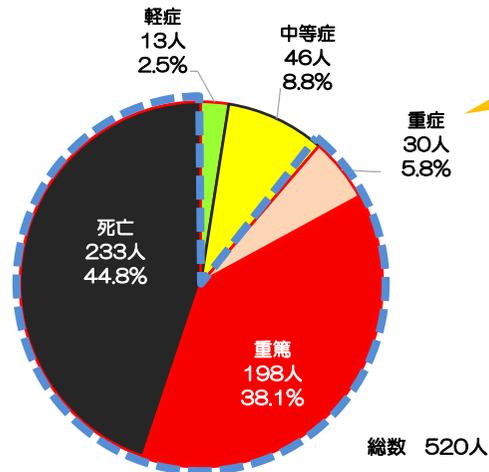
東京消防庁 Facebook

【お問合せ先】
 東京消防庁防災部防災安全課 ☎ 03-3212-2111 (代表) FAX 03-3213-1478

・データは、東京消防庁管内*で救急搬送されたもの。(令和元年中のデータを使用)

※ 東京都のうち、稲城市、島しょ地区を除く地域

初診時程度別救急搬送人員



約9割が生命の危険がある重症以上



軽 症：入院を要しないもの
 中等症：生命の危険はないが入院を要するもの
 重 症：生命の危険が強いと認められたもの
 重 篤：生命の危険が切迫しているもの
 死 亡：初診時死亡が確認されたもの

こんな事故が起きています！

●お風呂から出てこなくて・・・

入浴後、風呂から上がってこないため心配し様子を見に行くと、浴槽内で顔を水没させ意識のない状態で見つけた。（80代 重篤）

●浴室から応答がなくなり・・・

入浴中に、家族が何度か声を掛けて様子を伺っていたが、声を掛けても応答がなくなり、浴室内を確認したところ、鼻と口が水没していた。（60代 重篤）

もしものときの応急手当



意識がない！呼吸がない！ときは

【心肺蘇生】



胸骨圧迫30回



人工呼吸2回

- ①胸の真ん中に両手を置く。
- ②約5cm沈むまで圧迫する。圧迫は1分間に100回から120回のテンポで。
- ③人工呼吸※は、胸の上りが見える程度の量を約1秒かけて2回吹き込む。
- ④胸骨圧迫30回と人工呼吸※2回を繰り返して行う。

※ためらう時は、胸骨圧迫のみ続けます。